

SHIN CLUB 202

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



神宮前 6 丁目プロジェクト 撮影：齊部功



中野 3 丁目ハウス 撮影：アック東京

今月のトーク/monthly talk

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、お健やかに新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本紙もおかげさまで創業以来欠かすことなく発行し、昨年 11 月に 200 号を発行することができました。これも偏にお客様、特に建築家の先生方に様々な面で支えていただいた賜物と厚く御礼申し上げます。

日本は今、東京オリンピックを政府主導で高揚させられ、浮き足立っております。

しかし、実態の景気は未だ好況を感じられません。それにもまして、世界のあちらこちらで問題が噴出し、一寸先は闇という状況が続いております。

このような環境ではありますが、弊社の親会社「ZEN ホールディングス」の目標であります「世界で最後まで生き残る会社」を、弊社も当然目指してまいります。

この目標達成のために必要なことは、磐石な財務基盤の確立はもとより、全社員一人ひとりが毎日少しずつ額に汗して自己研鑽し、お客様に心から喜んでいただける仕事をしていく以外、道はないと確信いたします。

どうぞ本年も社員一同、熱く「こだわり建築」に挑戦して参りますので、引き続きご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

2017 年元旦

代表取締役社長 森村 和男

神宮前6丁目プロジェクト



キャットストリートに向けて、思い切り踊ることのできる祭りのやぐらのようなテナントビル

渋谷川の暗渠部分である裏原宿のキャットストリート。静かな住宅街であった20年前とはすっかり姿を変えて、両側には、若者のファッションの先端を行くブランドショップが軒を連ねる。デザインも様々な建築物が建ち並ぶ中、むしろ黒子に徹して、店の商品や展示物に思う存分自己主張をしてもらいたい。そんな気持ちで祭りの『櫓(やぐら)』のような、シンプルな構造の建物を考えた。

暗渠より少し下がった側道から、再び70cmレベルを上げて、道行く人に視線を合わせ、柱は木造のサイズ150mm角に抑えて、ガラスファサードを通して、ほとんど建物を意識させずに内部の商品や広告を、通りから見えるようにした。

多くの鉄骨造の建物で耐震性の確保のために設けられる鉄骨ブレースは、デザインの上からも避けたいと考え、純ラーメン構造とした。サッシはスチールにして少し太く、柱と同じサイズにして、構造的に必要なものを全体に等価にしてまとめている。木々が並ぶ林のようである。一番太い鉄骨は、電気の引き込みに建てた300mm角のH鋼である。

商品が目立つためには、とにかく店舗の内装設計の自由度を上げる必要がある。物販で、3階以上の建物は耐火構造が義務付けられているが、柱・梁の仕上げの厚みを抑えるため、今回は耐火塗料を採用し、通常より厚い数mmの厚さで施し、躯体そのものはかなり軽く仕上げることができた。

階高は約3m。コンクリートの厚さ150mm、梁背約285mmで、さらに内装が活かされるだろう。

(鈴木孝紀氏 談)

構造：S造 規模：地上3階 用途：店舗
 設計・監理：鈴木孝紀建築設計事務所
 施工担当：鄭 竣工：2016年7月 撮影：齋部功



①夕景全景②階奥から前面を臨む。黒子に徹するとのことで、塗料も黒っぽい色で収めている③柱と同じ太さのサッシの柱④1階。通りをゆく人々の視線と合わせたレベル⑤キャットストリートの側道は少し低くなっており、間に植栽、手摺を設けている⑥道路より70cm高くなっている入口

中野3丁目ハウス

和のテイストを取り込んだ、くつろぎの住宅

これまでデザイナーズマンションに暮らしていたオーナーが、戸建住宅を建てられることになって、希望されたのは「和風の生活」である。

中野駅に近く、前面道路も広くはないので、施工や環境を考えて木造を選択、外壁はサイディング、ウレタンフォームによる内断熱とし、1階に駐車スペースと水周りを配置した。

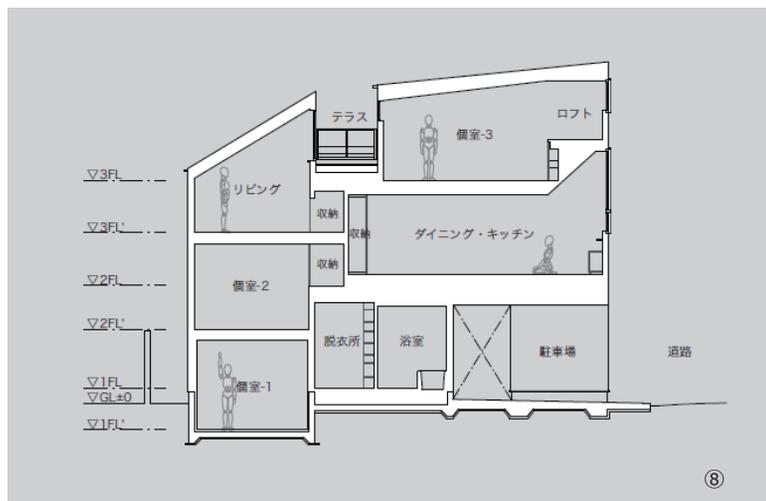
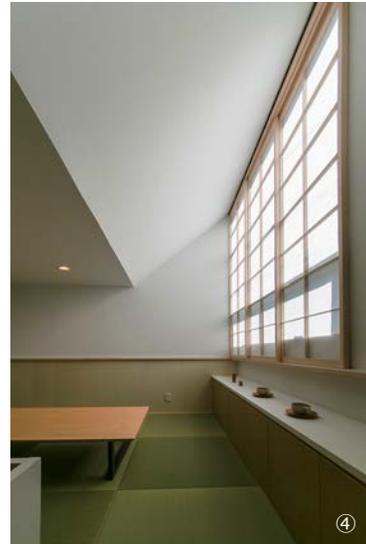
北側斜線に配慮してスキップフロアで家族全員の個室を確保し、2階のダイニング・キッチンに家族が集う畳の空間を用意した。

南側前面道路は幅4mだが、正面がちょうど路地状敷地の路地部分になっていて、向かい側の家と視線を合わせずに青い空を臨むことができる。開口部を高くとって採光を確保し、障子を閉じ、締め切っても1日中ほんのり明るい陽射しが入るようにした。開口部上部のスリットから、天井裏の換気が取れる計画としている。座卓はダイニングスペースに合わせて製作、全長4.5m。畳は琉球畳で、腰壁には細長い和紙(300x900)を重ね貼りにして、落ち着いた和の空間を生み出している。

正面の開口部には、大きさや形のバリエーションが豊富で、大きなフィックスタイプもあるビル用サッシを採用している。以前大船の集合住宅で採用したものを、オーナーも気に入っていただいていたためである。

家全体が温かく、ツインの洗面台、機能的なお風呂も快適で、オーナーからは、「よく眠れる」との満足のお声をいただいている。

野口信彦氏、栢野麻希氏 / タカギプランニングオフィス 設計室 談



構造：木造
 規模：地上3階
 用途：専用住宅
 設計・監理：
 タカギプランニングオフィス
 設計室
 施工担当：寺井
 竣工：2016年11月
 撮影：アック東京

①建物全景②2階ダイニング・キッチン。座卓は可動式。座敷自体もフラットな床として将来変更可能。ダイニングとリビングに床暖房設置。冬でも家全体が温かい③キッチン。収納は以前の家のモノがすべて入るように十分な分量を確保④2階ダイニング・キッチンの開口部は和紙の素材感を持ちながら耐久性のあるフーロンシート製の障子⑤中3階のリビング。上部の障子窓からテラスの明かりが入る⑥3階個室とフリースペース。オープンな空間を引き戸で仕切るフレキシブルなプラン⑦3階個室のロフト。床もコルク⑧断面図

建物再訪

1. 元代々木の家 「家は買うのではなくつくるもの」

辰が発足して18年目、これまで施工させていただいた建物は300近くになりました。新築物件の一つ一つに、「嫁を出す気持ちで、お引渡ししてきた」という社長森村の言葉通り、建築は一品生産。その後も長い間メンテナンスを通じて、お客様とお付き合いしてまいります。そんなお客様と建物そのものの価値について語り合いたいという企画をスタートさせることにしました。

建築家の先生方が、お客様の暮らし方や与えられた敷地の環境に応じて設計し、その建物を施工する建設会社が責任をもって維持管理に関わってこそ、良質な建物は年月を経て価値を生み出し、長く愛される景観として生き続けます。一方、それらが適正な価格で売買される健全な市場が、まだまだ日本には育っていません。建物をきちんと評価いただく市場の発展のため、施工会社ができることをお伝えしてまいりたいと思います。

第1回は「元代々木の家」。1999年、前身会社で、ご自宅の施工をご依頼くださった大野様は、前身会社が主力取引銀行の破たんにより倒れた後も、引き続き辰での施工を希望、契約の変更にも応じてくださいました。当時新会社として新たなスタートを切る我々に力を与えてくれました。

その家も竣工後16年が経ち、ご家族も増えたことから、新たな家建てられることを決意され、その際、なるべく竣工当時の状態に近い形にメンテナンスしてから売却しよう、辰のリニューアル部にメンテナンスをご依頼いただきました。大野様にお話を伺いました。



「17年前、前身会社が請けていた工事を新会社へ契約いただいたときのお気持ちはどのようなものでしたか。」

大野：そもそも新築時に設計の先生に依頼はしましたが、辰さんの施工はあこがれでした。建築が好きで青山・神宮前周辺をよく見て歩いていましたが、「いい建物だな」と思うと、施工会社が辰さんということが多かった。予想よりも高かったのですが、

自分が見た現場で感じた施工センスから、辰さんをお願いしたいと思いました。破たんしたときも、作るということでの問題ではなかったから、僕は全然かまいませんでした。

一当時17の仕掛り工事のお客様にはご迷惑をおかけしましたが、契約を変更いただくなどして完成にこぎつけました。

しかし、発足したばかりの「ShinClub」にすべての竣工情報を掲載する機会は逸してしまいました。この度リニューアル部がメンテナンスを請け負わせていただき、良い機会となりました。

大野：今回、建物を購入いただき、引き継いでくださることになったTさんは、まだ僕が居住中に内覧に見えたのですが、環境や建物だけでなく僕の暮らし方そのものに共感してくれました。物も増えて、片付いていかなかったのですが、こういう方に購入いただいて、引き継いでもらえるとうれしいなあと思いました。

コンクリートは時間の経過によってメンテは必要ですが、そこで安易な方法によって景観が勝手に変わってしまうようなやり方はダメだと思いました。杉板型枠の打ち出しコンクリートのテクスチャーを白く塗りつぶしてしまうようなことは違うと思うのです。周辺に暮らしている人たちの環境を見慣れ

た風景を大きく変えてしまう。コストが心配でしたが、予算から最大限の成果を得られるような逆提案をいただいでやっぱり相談してよかったと思いましたね。

「ShinClub」も同じです。

会社が同じようにずっと同じスタイルで続けていることに価値があると思います。

僕は子供に「家は買うものではなくて、つくるものだよ」と言っています。これからは、子供には「家はつくるんだ」ということ、誰に頼むかが大事だということ伝えていきたいと思っています。

一本日はありがとうございました。今後ともよろしくお祈りします。



構造：RC造
規模：地上3階
用途：専用住宅
設計：正屋デザインシステム
竣工：2000年3月

①建物全景。1階ロビー部は、駐車場。中央を貫く階段と開口部を広く取ったファサードが、限られた空間を広く感じさせる②大野様。広告関係のお仕事を個人でされている③2階リビングダイニング。前面道路に面したテラスは、正面外階段を介した玄関も兼ねる④洗面所、浴室⑤2階個室と3階への階段、ユーティリティ⑥3階個室。Rの天井、大きく取った開口部がのびやかな空間を演出（撮影：アック東京）

「(仮称) 西浅草2丁目計画新築工事」 地鎮祭

2016年12月26日



閑静な住宅街、近くの道路からスカイツリーも望める、階高4,000mmのバリエスタジオを擁する住宅です。

構造：RC造
規模：地上3階
用途：専用住宅・バリエスタジオ
設計・山縣洋建築設計事務所
完成予定：2017年9月

「近代建築 Vol.70 12月号」



創刊70号記念号に「カルツェドニア新宿」が特集されました。弊社工事部長、岩本健寿のコメントが掲載されています。ぜひご覧ください。

構造：S造（一部SRC造）
規模：地下2階、地上3階、工作物
用途：物販店舗
設計・監理：光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所
竣工：2015年9月

編集後記

・新年あけましておめでとうございます。今年も「ShinClub」をよろしくお祈りします。

(株)辰通信 Vol.202 発行日 2017年1月12日 編集人：松村典子 発行人：森村和男
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-8-10 TEL:03-3486-1570 FAX:03-3486-1450
E-mail: daihyo@esna.co.jp URL: http://www.esna.co.jp

「SHIN CLUB」はWEB上でもご覧いただけます。バックナンバーも掲載しています。
<http://www.esna.co.jp/shinclub>
スマホはこちらから →

